

第3回 先端放射光活用研究会「放射光が拓く触媒科学の発展」

主催：一般社団法人触媒学会（先端放射光活用研究会）

共催：北海道大学触媒科学研究所先端放射光源触媒計測科学ユニット

日時：1月19日（月）13:00-17:20

会場：Zoomを用いたオンライン開催（接続先は後日連絡します）

多様な合成プロセスの基盤となる触媒の科学は、合成から計測、理論まで、様々な角度から発展を遂げてきました。先端放射光の活用もその一つです。2024年度からは、東北でナノテラスの運用が新たに開始される中、SPring-8のアップグレード計画も進んでおり、先端放射光は日々進歩しています。本研究会では、放射光を活用した最新の触媒科学のトピックスをご講演頂き、この分野の今後の発展と課題について議論します。

13:00-13:10	開会挨拶 唯 美津木（名大物国セ）
13:10-13:40	「In-situ XAFS計測によるクラスター表面での分子吸着・活性化機構の解明」 山添 誠司（都立大院理）
13:40-14:10	「バイオマス転換反応を志向した固体触媒の開発と放射光計測を用いた キャラクタリゼーション」 大須賀 遼太（北大触媒研）
14:10-14:25	「三井金属総合研究所における放射光を活用した材料開発」 橋口 雄太（三井金属株式会社 事業創造本部総合研究所）
14:25-14:55	「蛋白質微小結晶形成法を用いた金属酵素の基質配向変化の直接観察」 莊司 長三（名大院理）
14:55-15:15	休憩
15:15-15:45	「放射光計測によるCO ₂ 電解中の触媒状態の可視化」 高松 大郊（株）日立製作所 研究開発グループ）
15:45-16:15	「NanoTerasuのオペランドX線計測が拓く触媒表面科学」 山本 達（東北大 SRIS）
16:15-16:45	「XAFSイメージングによる固体材料の反応可視化」 松井 公佑（関西学院大理）
16:45-17:15	「放射光オペランド計測の課題と今後への期待－XPS/XASによる経験から」 近藤 寛（慶應大・PF user association会長）
17:15-17:20	総括 高草木 達（北大触媒研）

申込先 URL : <https://forms.gle/5KfwmHPZTfGBy1t56>

申込締切：1月14日（水）

参加費：無料